

報告：広大マスターズ市民討論講座「東広島市民のエネルギー問題」

2013. 7. 8 安藤忠男

広大マスターズは東広島市教育委員会と共催で、参加者の討論を重視した「市民討論講座」を試行しましたので、その概要を報告します。市民の関心の高い地域課題では、従来の授業形式の「市民講座」より、市民がより能動的に関われる「討論講座」の方が適していると考え、2回の討論講座を企画しました。いずれも東広島市市民文化センターで実施し、本報告者が講師・司会役を務めました。

第1回 どうする？原子力発電（平成25年6月1日（土）10:00-12:00）

まず司会から講座の趣旨や発言のルールを説明しました。その後約30分間、中国電力広報担当の桜井正治氏から中国電力の原子力発電政策について「中国電力は安全確保を大前提として原子力発電を推進する」旨の説明を受け、質疑応答しました。次いで「原発推進」、「脱原発」、「態度未定」の参加者グループから意見を求めたところ、種々の意見や質問が開陳されました。

合計2時間と言う時間の制約があり、また講座としての結論を出すことを目的としていなかったもので、参加者間で意見を十分に戦わすことはできませんでしたが、参加者が他の人々の意見を聞き、自分の考えをまとめるには参考になったものと思われまます。



ゲスト討論者の桜井正治氏（中国電力）



広島大学マスターズが講師・司会を担当



質問する参加者



発言する参加者

第2回 自然エネルギーの上手な使い方は？（平成25年6月22日（土）10:00-12:00）

この講座の前半は、二人の市民からそれぞれ10分間ずつ家庭生活における省エネと自然エネルギーの活用について事例報告を受けました。いずれも各家庭の事情や成果をわかりやすく説明してもらえ、参加者も省エネや自然エネルギーの活用の参考になったものと思われました。

後半は、地域社会における自然エネルギーの活用について詳しい生協ひろしまの佐々木桂一氏から各地の先行事例について具体的に説明を受け、質疑応答しました。地域社会における取組みがまだ弱い東広島市には参考になる事例が多く紹介されました。司会が、多くの市民が参加できる自然エネルギー普及の取組み案を示して意見を求めたところ、多くの意見が出され、今後、地域で自然エネルギーの普及を図る場合に大変参考になるものと思われました。



ゲスト討論者の佐々木桂一氏（生協ひろしま）



事例発表する森下美冬さん（市民）



事例発表する西村みどりさん（市民）



発言する参加者

今回の講座は 30 名の定員で先着順に参加を受け付けました。幸い幅広い年齢層から定員を上回る申し込みがあり、質問や意見も数多く出され、初の「市民討論講座」としては成功だったと思います。広島大学マスターズの今後の活動の一つとして、地域社会の課題を議論する「討論講座」も有効であると判断しました。

今回の講座は中国新聞、タウン紙プレスネット、FM東広島でも紹介され、第 2 回講座については 6 月 22 日に NHK 広島放送局のひろしま 6 4 5 のニュースでも紹介されました。関係の報道機関等に感謝申し上げます。

<参加者のアンケート結果>

市民討論講座に対する参加者の反応を探るため、各講座終了後に下記のアンケート調査を実施しました。

<第 1 回討論講座：どうする？原子力発電>

出席者 31 名（男性 18 名、女性 13 名）、アンケート回答者数：26 名

- (1) <回答者の年齢> 50～60 代：15 名、70 歳以上：7 名、30～40 代：4 名
- (2) <講座を知った方法> 市の広報誌：8 名、友人などからの情報：8 名、中国新聞記事：5 名、その他（チラシなど）：6 名、プレスネット記事：1 名
- (3) <ゲスト討論者の話> 大いに参考になった：15 名、少しは参考になった：10 名、全く参考にならなかった：1 名、あまり参考にならなかった：0
- (4) <ゲスト討論者の話への期待> 島根原発の安全性：15 名、島根原発の再稼働：5 名、上関原発の建設計画：3 名、その他：4 名
- (5) <討論時間> ちょうど良かった：13 名、短かった：12 名、長過ぎた：1 名
- (6) <討論の進行> 良く討論できた：14 名、まあまあだった：10 名、うまく討論できなかった：1 名、改善点など：司会が討論をコントロールしすぎた。
- (7) <講師の話> 大いに参考になった：19 名、少しは参考になった：6 名、全く参考にならなかった：1 名、あまり参考にならなかった：0
- (8) <市民討論講座に参加して良かったか？> 良かった：14 名、機会があればまた参加したい：13 名、まあまあだった：2 名、期待はずれだった：0
- (9) <今後参加したい討論講座の論題> 環境問題：17 名、福祉問題：9 名、町おこし：9 名、医療・健康問題：9 名、教育問題：6 名、その他：2 名（農園・農業・食糧問題、TPP・食料自給率）

<第2回討論講座：自然エネルギーの上手な使い方は？>

出席者：24名（男性13名、女性11名）、アンケート回答者数：23名

- (1) <回答者の年齢> 50代：7名、60代：5名、70代：5名、40代：3名、30代以下：1名、80代以上：1名
- (2) <回答者の住所> 西条町：8名、高屋町：4名、黒瀬町：4名、八本松町：2名、福富町：1名、広島市：1名、庄原市：1名
- (3) <今回の市民討論講座に参加して良かったか？> そう思う：17名、ややそう思う：2名、どちらとも言えない：1名、無回答：2名、思わない：0
- (4) <2回の市民討論講座に参加した感想>（記述式）

<良かった点>

- ・いろいろな意見が聞けた。
- ・講座の内容は良かったと思う。
- ・市民の具体例は非常に面白い。
- ・わかりやすい説明で良かった。
- ・具体的な数字が示された。
- ・司会役のスキルが素晴らしい。ただ、もう少し討論を深めたい気がする。
- ・知らないことを勉強できてよかった。
- ・広島のエネルギーの状況がよく分かった。電力のシステムの今後の動きも分かって参考になりました。
- ・生活工夫による省エネと省エネ家屋（ハード面）での省エネ実践例。
- ・エネルギー問題に関心がある人が市内にも多くいらっしゃる点がわかった点。これからどのようなエネルギーを普及させていくべきか理解できた。
- ・事例が役に立つ事があり、良かった。
- ・多方向から色々な意見を聞いたこと。
- ・他の方の太陽光発電の取り組み方が判ったこと。
- ・省エネではいろいろな参考になり、できることから実行していこうと思います。中電の姿勢がよく分かり、大震災事故から学んでいない。まず再稼働ありと、要注意。
- ・まとめられる先生が素晴らしかった。
- ・今回の講座は将来の話ではなく、今現在の問題として大変良かったと思います。

<悪かった点>

- ・討論の時間が少ない。
- ・討論をしたそのあとどうするのですか？地域満足活動ですか？
- ・広報を見て参りましたが皆さんなぜ参加しないのか不思議に思います。
- ・自然エネルギーを広げるための説明：課題が何でどうすれば解決するのか分からない。
- ・討論が活発でなかった点。
- ・自然エネルギーの長短の説明。
- ・討論時間がなかった。
- ・自然エネルギーを進めるのは素晴らしいが、原発を廃炉にしていけないと広島県も東北の二の舞になる危険がある。事故が起これば全てに無になってしまう。
- ・市民討論の時間が短い。

<印象に残った点>

- ・（電力消費の）記録をつける（安藤先生）
- ・各自然エネルギーの効率
- ・専門家の方々のお話を伺えてよかった。
- ・家族の省エネ意識が高まった（太陽光パネルを設置して）
- ・中国電力が市民の側に立った電力会社でないという事がとても残念でした。
- ・サンサンプロジェクト（講師が例示した、市内33の小学校に太陽光発電を設置する計画）に興味があり、良いと思った。
- ・中国電力が原発を進めたいと言われたこと。
- ・「市民が中心になって」と言うのが、大切なポイントだと思う。
- ・（地球温暖化も放射能汚染も）「自分たちの責任」と（講師が）言われたこと（死ぬまでに返していく）
- ・具体例と数字が示され、説得力がありました。

- (5) <市民討論講座を今後も開催した方が良いか？>

そう思う：17名、ややそう思う：1名、どちらとも言えない：1名、あまり思わない：0、思わない：0

(6) <今後の市民討論講座の実施方法は？>

<回数> テーマごとに変えて良い：8名、1回：4名、2回：4名、3回：2名、4回：0名

<曜日> 土曜日：18名、他の曜日がよい：4名（水、日各2名）

<時間帯> 10～12時：19名、他の時間帯がよい：0名

<講座時間> 2時間：19名、もっと長い方がよい：1名、もっと短い方がよい：0

<討論時間> 1時間：13名、もっと長い方がよい：2名、もっと短い方がよい：1名

<講座定員> 30名：15名、もっと多い方がよい：4名、もっと少ない方がよい：0

<場所> サンスクエア：19名、他の会場がよい：2名（どこでも、駐車場のあるところ、各1名）

<ゲスト討論者> 必要：13名、どちらかと言えば居た方がよい：1名、居なくてもよい：1名

(7) <どのような分野、内容の討論講座であれば受講したいですか？>

- ・自然エネルギーの活用こそ生きてゆくために必要である。そのための討論は大切である。
- ・ゴミ問題などの環境問題、食糧などの問題、高齢化社会問題等。
- ・東広島市内の公共交通の問題
- ・討論を行って意識改革するだけでは何の意味も無いと思います。本討論会から市政への意見書を出す仕組みであれば、是非受講したい。今回は自然エネルギー、市民エネルギー、原発問題でしたが参加されている方はすでに意識の高い方です。もう少し幅広い市民を集めないと変わらない。
- ・高齢化社会に向ってどの様な生き方考え方をしないとならぬか？持ち家のある者のこれから気をつけねばならない事、いつまでも元気でボケない為の秘訣等
- ・食品の安全性
- ・自然災害、地球温暖化
- ・道路・水道システム、エネルギー
- ・自然エネルギーの重要性を市民に徹底するための講演会
- ・東広島市役所の行政課題について 教育、財政、環境、農業、産業、観光など
- ・環境 温暖化 自然災害の防災対策との組み合わせ 水力 風力 バイオ
- ・いろいろな分野があれば固まった人材にならないのでよい。
- ・教育
- ・太陽光発電の取り組みについて
- ・今回のパートⅡをしてほしい。
- ・医療・福祉問題、過疎化に伴う公共交通機関問題

(8) <その他の意見・感想・要望など>

- ・本日は大変良いお話を聞いて良かったと思います。またこの様な講座があったら参加したいと思います。
- ・とてもいい話を聞いて参考になりました。一人ひとりをもっと関心を持ってよりよい地域になってほしいと思いました。ありがとうございました。
- ・市民が主役とのこと、自然エネルギーが重要であることを認識させることが必要。市役所、議員さんには認識させられないのか？
- ・休憩時間があった方がよいと思いました。
- ・地域社会に還元する方法の一つとして、自然エネルギー（再生可能エネルギー）の買取価格、設備費、所得税、固定資産税等で税金として回収し、回収金を地域社会に還元。
- ・広島大学マスターズを初めて知ったが、とてもすばらしいと思った。
- ・市民が主役になる教育、環境問題、その当事者が講師として立ったことが良く、これからを考える上で参考になった。しかし、東広島は何となく保守的で動き出すことが困難な印象があります。

注：コメントなどは原文のまま。ただし、(青字)は報告者の補足。

<終わりに>

市民討論講座で積極的に討論に参加し、また、アンケートには率直にコメントして下さった参加者の皆様、ご協力どうもありがとうございました。お寄せいただいたご意見などを参考にして、広大マスターズは地域社会の課題を取り上げた「市民討論講座」を今後も継続したいと考えています。また機会がございましたら「市民討論講座」にご参加いただき、どうぞご意見などをお聞かせ下さい。また、お会いできる日を楽しみにしています。

